

入院のご案内

★当院の理念・基本方針・学生の臨床実習への協力のお願い 他	
1. 入院手続き	5
2. 入院時の持ち物	5
3. 入院生活の過ごし方	6
4. 食 事	7
5. 面会について	8
6. 付添い	8
7. 入院中の禁煙・禁酒について	8
8. 非常時の際は	9
9. 病室について	9
10. 入院費について	10
11. 入院費の支払い	11
12. 退院手続	11
13. その他	11
14. 患者さんご家族等にお守りいただきたいこと	12
15. 職員への暴言・暴力の当院の対応について	12
16. 病状の説明及び手術・処置等の説明について	12
17. 「困った時・・・」のご案内	13
18. 諸施設	13
19. 各フロア案内	14
★安全対策に関するお願い 他（医療安全管理部）	16
★膀胱留置カテーテルについて（医療安全管理部）	19
★動脈ラインについて（医療安全管理部）	20
★経鼻胃管挿入について（医療安全管理部）	21
★感染防止に対するご協力とお願い 他（感染制御部）	22

東京医科歯科大学病院

〒113-8519 東京都文京区湯島1丁目5番45号

TEL 03-3813-6111（代表）

ホームページ <http://tmd.ac.jp/medhospital/>

入院受付時間 8:30~17:00（土・日・祝日除く）

（A棟1階 入院受付窓口）

病院の理念

世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し、人々の幸福に貢献する

基本方針

- 1. 患者中心の良質な全人的医療の提供**
- 2. 人間性豊かな医療人の育成**
- 3. 高度先進医療の開発と実践**
- 4. 人々の信頼に応える社会に開かれた病院**

患者の権利

1. 個人の尊厳が尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
2. 分かりやすい言葉で、ご自身の症状、診断、予後、治療法等について説明を受けることができます。
3. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、医療従事者の提供する治療方法等をご自身の意思で選択することができます。
4. ご自身の診療記録の情報開示を求めることができます。
5. 診療の過程で得られた個人情報とプライバシーは適切に保護されます。
6. セカンドオピニオンを希望される場合には、本院の情報を提供します。
7. 臨床研究に関し十分な説明と情報提供を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、ご自身の意思で決めることができ、いつでも参加を取りやめることができます。

患者の責務

1. ご自身の健康に関する情報を、医療提供者にできるだけ正確に伝えてください。
2. ご自身の治療について、十分な理解と同意の上で受けてください。
3. 医療の提供を受けた場合、医療費は遅延なくお支払いください。
4. 「研究」「教育」などの大学病院の役割をご理解いただき、医療人の育成・医療の発展にご協力ください。
5. 本院が定める規則を遵守する他、すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんへの医療提供に支障のないようご配慮ください。

当院の役割

当院は特定機能病院として、高度急性期医療を主として担っております。
患者さんの症状により、原則として他の医療機関の紹介のもとに、当院にて高度で専門的な医療を提供いたします。
入院のお部屋やベッドは、病状に応じて決めており、患者さんの病状や他の患者さんの病状に応じて病棟や病室を移動していただくことがあります。
当院の医療を待っている多くの患者さんのために、症状が安定した患者さんにおかれましては、退院して頂いたり、患者さんの状態に適した機能を有する医療機関に紹介させていただきます。
なお、緊急の場合、お部屋の移動や退院・転院に際して事前のお知らせが間に合わない場合もありますので、ご了承ください。

宗教的理由等による輸血拒否に関する当院の方針

当院では、輸血を行わずに治療ができるよう最大限の努力をしています。しかし、輸血によって救命・生命維持ができる可能性がある」と医師が判断した場合には、輸血を実施するという方針で対応させていただきます（いわゆる「相対的無輸血」）。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

医療安全管理指針

1. 患者対応に関する基本方針

十分なインフォームド・コンセントに基づく患者との良好な信頼関係のもと、患者本位の全人的医療、安全な医療の提供を行う。

2. 医療に係る安全確保の改善方策に関する基本方針

医療における日々の基本的チェックはもとより、医療現場からの医療安全管理に関する報告を通しての検証および事故防止対策を策定・実施する。

3. 職員研修に関する基本方針

医療における基本の徹底と質の向上を図ること、および医療に携わる者の一人ひとりの意識向上を図るため、教育・研修および講演会等を定期的に開催する。

4. 医療安全管理の体制に関する基本方針

上記の目的を実施するため、以下の機構を組織する。

①医療安全管理責任者

医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療機器安全管理委員会、医薬品安全管理委員会及び医療放射線安全管理委員会を統括する。

②医療安全管理委員会

本院における医療上の事故防止に関する方策の検討・実施、各種マニュアルの策定および研修等を行う。

③ゼネラルリスクマネージャー・医療安全管理部

安全管理レポートの調査分析評価等を行うとともに、事故防止に関する指導等を行う。

④医療機器安全管理責任者・医療機器安全管理委員会

医療機器の安全確保を目的とした改善方策の検討・実施、医療機器の保守点検に関する計画の策定および医療機器安全使用のための研修等を行う。

⑤医薬品安全管理責任者・医薬品安全管理委員会

医薬品の安全確保を目的とした改善方策の検討・実施、医薬品安全使用のための手順書の作成および研修等を行う。

⑥医療放射線安全管理責任者・医療放射線安全管理委員会

医療放射線の安全確保を目的とした改善方策の検討・実施、適切な医療放射線利用の情報提供を行うために必要な医療安全対策の策定および研修等を行う。

⑦リスクマネージャー・リスクマネージャー会議

各診療科、中央診療部門等の中核となる実務担当者で構成し、日常における安全管理レポート等からの事例の検証と再発防止に努める。

⑧死亡退院事例検証会

院内発生の死亡退院事例を全例検証し、医療の安全確保を図ることを目的とする。

5. 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針

①医療上の事故あるいは事故の疑いのある事態が発生した場合は、病院全体の組織として判断を行い、医療行為の倫理性、透明性を確保し、迅速かつ適切な対応を行う。なお、報告方法等については「医療安全マニュアル」に従い行う。

②外部評価システムを導入する。

6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針

医療従事者は、本指針の内容を含め、患者と互いに情報を共有するものとする。

7. 指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、患者およびその家族等からの閲覧の求めがあった場合には、これに応じるものとする。

8. 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者からの相談に対応するため、院内に患者相談室を置き、必要に応じ、関連部署との連絡調整を行い、相談内容を適切に処理する。

9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針

安全かつ高度な医療を提供するため、各種マニュアルの作成を行うとともに、その普及・実施に努める。また、高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合には、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的な考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

感染対策指針

1. 職員に対する研修に関する基本方針

- (1) 感染対策の基本的考え方および具体的方策について、職員に周知徹底を図ることを目的に実施する。
- (2) 職員研修は、就職時の初期研修のほか、全職員および職種別対象を年数回開催する。
- (3) 研修の開催結果を記録・保存する。

2. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針

MRSA等の感染を防止するため、「院内感染現況報告」を週1回程度作成し、対策室にて確認・検討を行うとともに、対策チームを通じ院内への情報提供・注意喚起に活用する。また、検討結果は委員会にて報告され、再確認等、活用する。

3. 院内感染発生時の対応に関する基本方針

異常発生時は、その状況および患者さんへの対応等を病院長に報告する。対策室にて速やかに発生の原因を究明し改善策を立案するとともに、状況に応じ委員会を開催する。

改善策を実施するために対策室・対策チームを中心に全職員への周知徹底を図る。

4. 本指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、患者さんまたは御家族が閲覧できるようにする。

医学部学生の臨床実習への協力をお願い

東京医科歯科大学医学部長
東京医科歯科大学病院長

本院は教育病院であり、患者様の診療を通じて次世代の医療を担う研修医の臨床研修や医学生、看護学生、臨床検査学生等の臨床実習を行っています。

医学部医学科5年生および6年生（最終学年）は入学以来、医学に関する学習を行ってきました。そして臨床実習に必要な知識・実技について全国統一の共用試験ならびに学内独自の試験にて評価が行われ、合格した学生のみが、全国医学部長会議より「スチューデント・ドクター」と認定され、臨床実習を行うことができます。

臨床実習では、医学生が診療を見学させていただいたり、患者様にご同意いただいた場合に診療チームの一員として患者様からお話を伺ったり、診察をさせていただくことがあります。医学生の医療行為に関する全国指針に基づき、これら以外の医療行為（患者様への侵襲が小さく、プライバシー侵害にならないものに限定）の実施についてご相談させていただく場合もございますが、その場合は改めて口頭または文書により説明の上、患者様のご同意があった場合のみ、指導教員である担当医の責任のもとに行われます。もし患者様の健康ないしプライバシーを損なうような事象が発生した場合には、医学部長および病院長の責任で適切に対応いたします。

看護学専攻学生、検査技術学専攻の学生は、診療の補助、療養上のお世話、臨床検査等の実習を実施いたします。病院の職員と保健衛生学科の教員の指導の下に実施いたしますので、ご協力お願い致します。

また、他の教育機関からも看護師、薬剤師、臨床検査技師などを目指す学生の実習の受け入れを行っており、患者様と対面しお話を伺わせていただくことがあります。

是非ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、お断りになられても患者様に診療上の不利益が発生することはありません。

1 入院手続き

- 1) 入院の予約をされた方は、後日入院される診療科医師から、入院日をお知らせいたします。
- 2) 入院当日は、特に医師からの指示がない限り、入院予定時間は原則午前10時となります。入院予定時間の30分前までにA棟1階①番入院窓口（時間外および土日祝日の場合は、C棟地下1階時間外受付）にて入院手続きをお願いいたします。都合により来院できない場合は、事前に入院される診療科にご連絡ください。
- 3) 8階および16階病棟はセキュリティカードが必要です。入院手続きの際にお渡しいたします。
- 4) 手続きの際に提出していただくもの
 - 入院申込書と入院誓約書（事前に書類を受け取られていない方は、当日お渡しいたします）
 - 面会についての確認書（ご面会の方にお部屋番号をお教えしてよろしいかお伺いいたします）
 - 診察券（初診の方は当日作成してお渡しいたします）
 - 保険証 ● 印鑑 ● 限度額適用認定証（交付を受けている方）
 - 受給証（高齢受給者証、その他公費負担医療等）
- 5) 医療扶助、育成医療、更生医療、特定疾患等公費負担の医療制度を受けられる方、労災や交通事故で入院される方は、A棟1階①番入院窓口へお申し出ください。
- 6) 入院中に、保険証の内容に変更(予定)が生じたり、資格がなくなったときは速やかにA棟1階①番入院窓口へお申し出ください。（保険証変更連絡がない場合、患者さんに一時的な負担が生じる場合があります。）

2 入院時の持ち物

食 事	はし(割り箸)、スプーン、コップ(割れにくいもの) 飲み物等
洗面用具	歯ブラシ、歯磨き粉、くし、ひげ剃り(電気式のみ可)、ボディソープ、シャンプー・コンディショナー等
寝衣類	下着、寝巻(パジャマ・浴衣等、有料レンタルあり)、上着(上に羽織るもの)等 靴(かかとのある滑りにくいもの、外履き可、スリッパやサンダルはお控えください)、靴下
日用品	フェイスタオル・バスタオル(有料レンタルあり)、ティッシュペーパー、マスク テレビ用イヤホン(個室不要、長さ3m程度)
その他	お薬(使用中の薬)、お薬手帳・お薬説明書、紙おむつ(必要時、定額利用サービスあり) 医療処置用品(血糖測定器、ストマパウチ、自己導尿の用具等)

※持ち物は十分注意して管理していただきますようお願いいたします。持ち物の紛失、盗難が発生した場合、当院では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※貴重品やアクセサリー類、多額の現金は、盗難の恐れがありますので、お持ちにならないようにしてください。ベッドサイドにセイフティーボックス(約40×34×10cm)があります。貴重品およびセイフティーボックスの鍵の管理は個人でお願いいたします。

※A棟1階に銀行ATM(三井住友銀行、セブン銀行)があります。

※電化製品の持ち込みはご遠慮いただいております。貸し出し用ドライヤーは病棟にあります。

※A棟16階につきましては、下記のものを用意してごさいます。

歯ブラシ・歯磨き粉	ブラシ	ハンドソープ	シャンプー
コンディショナー	ボディソープ	はし	スプーン・フォーク
バスローブ	タオル・バスタオル	ティッシュペーパー	新聞

※入院時に必要な物品は、宅配便で「学内のセブンイレブン」に送ることができます。前日を到着指定でお送りください。

【送り先】〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学内 セブンイレブン
☎03-5803-5992

【ご依頼主】患者さんのお名前・住所・電話番号を記入(入院する診療科名は記載しないようお願いいたします。)

【荷物受取】患者さんもしくはご家族の方がセブンイレブン店頭にて「送り状」を提示し、お受け取りください。

【お問合せ】セブンイレブン東京医科歯科大学店(24時間営業) ☎03-5803-5992

A・B棟14階にご入院される患者さんへ ダウンジャケット等羽毛製品についてご協力のお願い

A・B棟14階にはダウンジャケット、ダウンコートなど羽毛製品にアレルギーがある患者さんが多く入院されております。これらを着用されている方と接した場合に病気が悪化してしまう恐れがあり、14階病棟に入院されるすべての患者さんに、ダウンジャケット、ダウンコートの着用を可能な限りご遠慮頂くか、退院日まで自宅にお持ち帰りいただくようお願いしています。お見舞いでお越しの方については、病棟の受付で一時的にお預かりしております。何卒、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

呼吸器内科



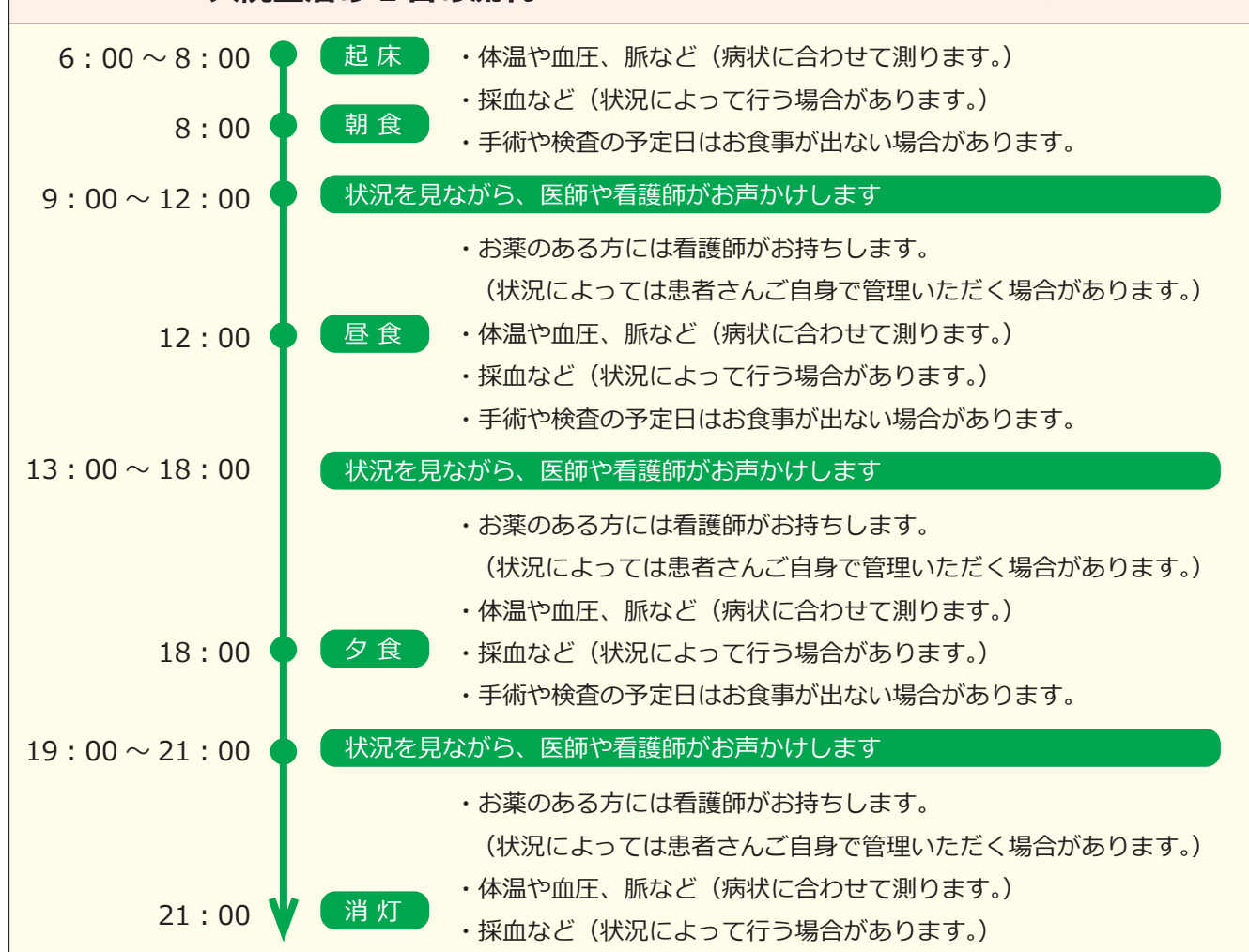
3 入院生活の過ごし方

- 1) 外出・外泊を希望される方は、担当医の許可が必要です。許可を受けましたら、所定の用紙に必要事項を記入し、看護師に提出してください。
- 2) シャワー室のご利用は予約制です。入院時に看護師が予約方法を説明いたします。なお病状によってはご利用できない場合があります。
- 3) 院内における携帯電話の使用は、マナーモードに設定し、所定の場所をお願いいたします。また所定の場所でも他の患者さんの迷惑にならないよう、消灯時間後や歩きながらの使用、目覚まし等アラームの使用をご遠慮ください。病室内でのパソコン等の使用につきましても、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 4) 入院中の買い物は、学内のコンビニエンスストア・医療売店・移動売店をご利用ください。飲料水は病棟に設置している自動販売機でも購入できます。
- 5) 入院中の洗濯は、病棟に設置している洗剤付き洗濯乾燥機をご利用ください（洗濯～乾燥・1回につき400円、プリペイドカード利用可）。また医療売店で洗濯ネットを購入し、院内の業者へ依頼することもできます。
- 6) 電話の取次ぎは、緊急時の伝言以外はお断りいたします。
- 7) 院内でWi-Fi（有料、一部の個室においては無料）がご利用いただけます。
C棟の病室につきましては、フリー Wi-Fiをご利用いただけます。
- 8) 医師や看護師から出された療養上の指示は、お守りください。万一お守りいただけない場合は、退院していただく場合があります。
- 9) 病院スタッフへの謝礼は、固くお断りいたします。
- 10) 入院生活上の詳細については、入院時に看護師が説明いたします。また入院中、ご不明な点やお困りのことがありましたら、いつでも医師や看護師にご相談ください。

※ジェルネイルをされている方は、治療に支障をきたしますので、おやめください。

※診療上の理由により、病棟、病室を移動していただくことがあります。ご了承ください。

入院生活の1日の流れ（患者さんの病状によりかわる場合があります）



4 食 事

1) 病院の食事時間は、下記の通りです。

●朝食：8時頃 ●昼食：12時頃 ●夕食：18時頃

2) 食事は、病状により担当医の指示に基づいて用意されますので、病室への飲食物の持ち込みはご遠慮ください。また病院食は、管理栄養士により栄養管理されています。

3) 毎食締め切り時間を設定して食事の管理をしています。締め切り時間は、次の通りです。

●朝食：前日16時30分 ●昼食：当日10時30分 ●夕食：当日16時

※食事代は1食ごとに計算されます。急な外泊や退院は食事代を請求させていただきます。また締め切り時間後の対応はできないこともあります。ご了承ください。

※主食（ごはん・パン）や食事内容の変更希望は、早めに担当医か看護師にお申し出ください。但し、主食の隔日対応（ごはんとパンを一日おき）はできませんのでご了承ください。

※食品へのアレルギーや宗教上の理由で禁止食品がある方は、お申し出ください。なお、嗜好（好み）による食事の対応は、原則お断りしています。ご理解ください。

※衛生管理のため、配膳された食事は速やかに召し上がりください。牛乳やヨーグルトなど取り置きされる場合は、冷蔵庫に保管し、配膳当日中にお召し上がりください。

4) 水やお茶など、食事中のお飲み物は各自でご準備ください。

5) 病状により、病院食以外の飲食が制限される場合があります。飲食物の持ち込みは医師・看護師にご相談ください。

6) 特別メニューについて（詳細はデイルームの掲示をご覧ください）

1食あたり別途220円(税込)の自己負担で、特別メニューを利用することができます。

対象：一般常食・学齢食

実施：毎週火曜日～土曜日

※月曜日が祝日の際は、選択用紙の配布が火曜日、実施は水曜日からになります。また、年末年始、ゴールデンウィークなど市場が長期休みの際は特別メニューも休止します。

選択用紙配布条件：原則、毎週月曜日の昼食時に配布

※選択用紙は、配布日の9時頃時点で確定している情報に基づき印字されます。

※配布時に対象外の食事を提供する場合は選択用紙は配布されません。また、禁止食品など特別な指示がある場合もご利用できません。

5 面会について

1) 患者さんが十分な安静と療養をしていただくため、また患者さんおよび院内の安全を確保することを目的に、面会時間は下記時間帯とさせていただきます。

面会時間：全日 13:00～20:00

※状況により面会制限がある場合がございます。詳細は当院ホームページをご確認ください。

※お願い…ご家族やご面会の方には、次のことをお伝えください。

- 1) 患者さんの病状によっては、面会をお断りする場合がありますので、ご了承ください。
- 2) 病室での飲食はご遠慮ください。
- 3) 原則、生花のお持ち込みはご遠慮ください。
- 4) 大勢でのご面会、長時間のご面会、風邪等の感染が疑われる方や、小学生（12歳）以下のお子様連れのご面会はご遠慮ください。なお、病棟によっては、時間や人数、年令に制限がありますので、必ずご確認ください。
- 5) ご家族の方や付き添われている方、お見舞いに来られた方は、必ず「A棟地下1階防災センター」にて入館の手続きを行い、面会者カードやシールの交付を受けてください。8階および16階病棟へ面会に行かれる場合はセキュリティカードもお渡しします。面会者カード等はお帰りの際にA棟地下1階防災センターにお返しください。
- 6) 夜間（平日20時から翌朝7時まで）と休日（土・日・祝日の終日）につきましては、オートロックとなっているため入館できません。
- 7) ご面会の際は、必ず看護師もしくは病棟クラークに声を掛けてから病室にお入りください。
- 8) 病棟では、より良い環境を提供できるよう配慮しております。よって、歩く際に大きな音が発する履物での面会をご遠慮下さい。（特にヒール類は廊下に響きます）
- 9) 本院には駐車場（有料）もありますが、駅に近い場所にありますので、できるだけ電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。

※状況によって面会が制限・禁止となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 付添い

入院中の生活援助は看護スタッフが行いますので、付添いの必要はありません。但し、病状等によって担当医が必要と認めた場合に限り、家族の方の付添いが可能です。

7 入院中の禁煙・禁酒について

- 1) 健康増進法に基づく「受動喫煙防止」に伴い、病院の建物や駐車場を含む敷地内は「全面禁煙」となっています。入院中は禁煙を厳守していただき、たばこの持ち込みもご遠慮ください。電気加熱式たばこ、電子たばこなども使用・持ち込み禁止です。
- 2) 入院中は「禁酒」です。酒類は持ち込まないでください。



8 非常時の際は

- 1) 地震や火災などの非常時は、病院職員が誘導しますので、必ずその指示に従ってください。
- 2) 入院中は、非常口、非常階段の場所はあらかじめ確認してください。
- 3) 非常の際にはエレベーターは絶対使用しないでください。



9 病室について

- 1) 病室には、床頭台、セイフティーボックス、ロッカー、テレビ、冷蔵庫を備えています。グラン室、特別室を除き、テレビ、冷蔵庫はプリペイド式となっております。各病棟にある販売機でプリペイドカードを購入(1枚：1,000円)の上、ご利用ください。
 ※プリペイドカード購入の際は、1,000円札のみご利用になれます。あらかじめ1,000円札をご用意ください。
 ※ご利用の目安：冷蔵庫・・・200円/24時間、テレビ・・・100円/1時間
 ※プリペイドカードに残金がある場合は、払い戻しができます。精算機設置場所は、A棟1階とA棟地下1階、D棟8階です。
- 2) 当院は高度急性期病院であることから、頻繁に新たな患者さんが入院されます。特に緊急入院の際は、病棟や病室を移動いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 3) グラン室、特別室を利用される場合は、差額室料が発生します。(下記参照)
 - グラン室、特別室をご利用の際は、1日につき本院の定めた各室の使用料をご負担いただきます。
(例：1泊2日の利用の場合、2日分の料金が発生します)
 - 1日あたりの使用料及び各室の設備は次の通りです。
 ※窓側等のご希望は承っておりません。
 ※入室するお部屋はご入院日に最終決定いたします。ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

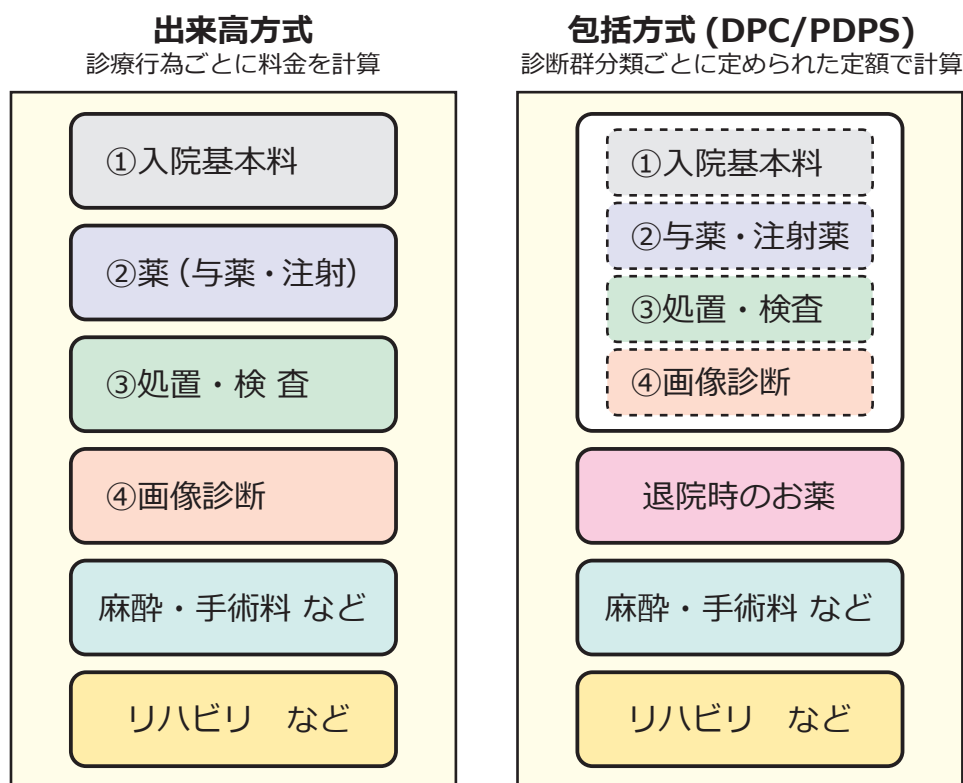
等級 (個室種類)	料金 (1日につき)	床頭台	冷蔵庫	テレビ	洗面台	トイレ	シャワー	電話	キッチン	応接室	Wi-Fi
16階 グランS	143,000円 (税込)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16階 グランA	89,650円 (税込)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16階 グランB	79,750円 (税込)	●	●	●	●	●	●	●	●		●
16階 グランC	49,500円 (税込)	●	●	●	●	●	●	●			●
特別室 1 (個室)	33,000円 (税込)	●	●	●	●	●					●
特別室 2-1 (個室)	16,500円 (税込)	●	●	●	●						●
特別室 2-2 (2床室)	11,000円 (税込)	●	●	●	●						
特別室 3 (4床室)	6,050円 (税込)	●	●	●	● (共用)						
特別室 (PCUのみ) (個室)	16,500円 (税込)	●	●	●	●	●					
個室A (D棟のみ)	49,500円 (税込)	●	●	●	●	●	●	●	●		●
個室B (D棟のみ)	27,500円 (税込)	●	●	●	●	●	●		●		●
一般病室 (4人室)	0円	●	● (有料)	● (有料)	● (共用)						
一般病室 (3人室・D棟のみ)	0円	●	● (有料)	● (有料)	● (共用)						

特別室2-1、個室BのWi-Fiについては10月中旬以降順次設置予定

10 入院費について

1) 医療費の算定方式（包括評価）

当院では、主治医が判断した「傷病名」や入院中に実施した「手術や処置等の診療行為に応じ、診断群分類に基づき、1日当たりの定額を基本として算出する包括方式（DPC/PDPS）で算定しています。図の通り、この算定方式が適用されるのは、入院基本料・検査・与薬・注射・画像診断等で、手術等については、従来とおりの「出来高払い方式」で算定されます。なお、精神病棟、緩和ケア病棟に入院されている場合は、「出来高払い方式」で算定されます。



2) 入院中に提供される食事代の負担 1食につき460円

※患者さんやご家庭の所得により、食事代の減額を受けられる制度があります。詳しくは加入している医療保険の保険者（高齢受給者証の方は居住地の市区町村）までお問い合わせください。

3) 入院中の医療費の窓口負担額の減額について

健康保険をお使いの方は、保険証を発行する会社や役所に事前に申請し、「限度額適用認定証」の交付を受け、病院に提示することで入院費用の窓口負担額が軽減されます。

詳しくは各保険証を発行する会社や役所にお問い合わせください。

当院は医科と歯科の併設医療機関になっております。

診療報酬上の算定ルールに基づき、医科にご入院中の患者さんが歯科を受診した場合の医療費、又は歯科にご入院中の患者さんが医科を受診した場合の医療費は、入院分医療費とは別に外来分としてお支払いをお願いすることとなります。

11 入院費の支払い

- 1) 入院費のご請求は、毎月末で料金を計算し、翌月10日頃に請求書をお渡しいたします。
また退院時には、退院日までの請求書をお渡しいたします。期日以内にA棟1階③番支払窓口または自動精算機にてお支払ください。A棟1階①番入院窓口でのお支払いはできません。請求書が発行できない場合は、お支払い方法について別途ご説明いたします。
- 2) A棟1階③番支払窓口の取扱時間は、月曜日から金曜日の8:30～18:00です。
なお、時間外及び土日や祝日は、C棟地下1階時間外受付にてお支払いいただけますが、必ず請求書をお持ちください。
- 3) 領収書は高額医療の払い戻し、所得税の医療費控除などに必要ですので、大切に保管してください。
- 4) 入院費の支払いについて、やむを得ない事情がある場合は、A棟1階①番入院窓口か医療連携支援センター医療福祉支援室（A棟1階病院玄関入口左側）にご相談ください。
また入院前・入院中に入院費をお知りになりたい場合は、A棟1階①番入院窓口にご相談ください。概算額をご案内します。
- 5) 伝票等の遅延より、追加請求をさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 6) 医療費のお支払いには、クレジットカード、デビットカード（キャッシュカード）、すぐ帰れるサービスがご利用いただけます。

12 退院手続

退院が決まりましたら、病棟クランクが退院の手続きを行います。

退院時間は、原則午前9時30分～10時となっています。

※請求書のお渡しは退院時間までに間に合わない場合、デイルームでお待ち頂く事があります。ご了承ください。

13 その他

- 1) 入院中の郵便物・宅配便等の受取りについて
入院中の病棟宛の郵便、荷物の発送はお控えください。必要な場合には、病棟クランクへご相談いただきますようお願いいたします。
- 2) 宅配便の利用について
宅配便：【平日8:30～17:00】A棟地下2階和同会院内サポートステーションへご依頼ください。
【時間外及び土日・祝日】M&Dタワー1階セブンイレブンで承ります。
※紛失やトラブル等につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 3) 入院中の診断書及び証明書等の依頼は、A棟1階①番入院窓口で手続きを行い、「証明書類作成依頼票」を受領された後に病棟スタッフにお渡しください。
※退院後に入院分の各種診断書等が必要な場合は、A棟1階④番証明書窓口（8:30～16:30）にお申し出下さい。書類のお渡しまでにお時間がかかります。あらかじめご了承ください。
- 4) 当院では、患者さんのプライバシーを尊重する観点と個人情報保護法により、患者さんの入院にかかる電話での問い合わせには一切お答えしていません。身内の方などに、あらかじめお知らせいただくようお願いいたします。
なお、病院外部から患者さんの入院の有無及び入院先の病室番号などの問い合わせについて、先方への回答を承諾されるかどうか、入院手続き時に確認させていただきます。
- 5) その他の入院に関する詳細事項については、当院ホームページの「入院に関するよくある質問」をご参照ください。下記のQRコードを読み取っていただくと、サイトにアクセスできます。



14 患者さんにご家族等にお守りいただきたいこと

- 1) 病院の規則、職員の指示、社会的ルールをお守りください。
- 2) 医療の提供を受けた場合、医療費を遅滞なくお支払いください。
- 3) 敷地内は全面禁煙です。いかなる場所（駐車場を含む）でもタバコは吸わないでください。
- 4) 敷地内における静止画や動画の撮影、録音行為や、これらのSNS等への投稿はご遠慮ください。
- 5) 敷地内でのセールス、勧誘活動はご遠慮ください。
- 6) 「関係者以外立入禁止」等のスペースには立ち入らないでください。

15 職員への暴言・暴力の当院の対応について

以下のような行為に対し、職員から注意・勧告などを行っても改善されない場合や緊急を要すると判断した場合、診療をお断りすることや、「強制退院」、「病院への出入り禁止」の通告を行うこと、「所轄警察への届出・通達」等、然るべき措置を講じることがあります。病院、職員との信頼関係の維持及び職員の労働環境の安全確保のためご理解ください。

- 1) セクシュアルハラスメントや暴力行為（殴る・蹴る・物にあたる等）、もしくはそのおそれが強いとき
- 2) 大声を出す、暴言または脅迫的な言動(誹謗・威嚇・中傷などを含む)がある
- 3) 解決しがたい要求を繰り返す
- 4) 建物設備等を故意に破損する
- 5) 受診に必要な無い危険な物品を院内に持ち込む
- 6) SNSなどソーシャルネットワークを使い、暴言や虚偽の内容を拡散させる、当院の関係者に対する誹謗中傷などを行う行為
- 7) 療養に専念せず診療目的に従った行動をしない場合や、無視・長時間の居座りなどを含む迷惑行為
- 8) 病院の規則、職員の指示に従わない
- 9) その他病院長が必要と判断したとき

16 病状の説明及び手術・処置等の説明について

医師及び歯科医師、病院職員の長時間労働が社会的に問題となっており、当院でも時間外勤務が増加し、休日もなかなか取れない厳しい状況となっています。

適正な休息は良質な医療を提供するために必要であり、職員の働き過ぎを防止するため、本院では以下の診療方針をとっています。

ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

- 1) 病状の説明や手術・処置の説明は、原則として、平日の勤務時間内に行います。

(平日8時30分から17時15分まで)

※なお、緊急時や医師、歯科医師、患者さん、ご家族の都合によりやむを得ない場合は、その限りではありません。

- 2) 休日や平日夜間の診療は担当医に代わり当直、当番医師、歯科医師が対応いたします。

17 「困った時・・・」のご案内

入院している患者さんが安心して療養生活を送れるよう、様々なご相談をお受けしています。

★医療福祉支援室（医療連携支援センター：A棟1階 病院正面入口を左側）

「退院後の自宅療養や転院先について相談したい」、「医療費の支払いが心配」、「高額医療費について知りたい」、「難病申請・身体障害者手帳などの社会福祉制度について知りたい」、「介護保険のことについて知りたい」等の相談に、ソーシャルワーカーや看護師が対応いたします。

●受付時間：9：00～16：00（土日祝日、年末年始を除く） ●電話：03-5803-4518

※基本的には、「予約制」としておりますので、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

★がん相談支援センター：A棟3階 エスカレーター横）

「今後の療養や生活のことが不安」、「家族としてどう支えたらよいのか」、「治療について理解するにはどう聞けばよいのか」、「治療の副作用や痛みとうまく付き合うには?」、「治療費が心配・・・」、「仕事が続けられるか・・・」、「緩和ケアについて知りたい」等の相談に、センターのがん専門相談員（ソーシャルワーカー、看護師）が対応します。内容に応じて、医師、専門看護師、認定看護師、臨床心理士、薬剤師、管理栄養士をはじめとする院内の専門職種と連携し対応いたします。

●受付時間：9：00～16：30（土日祝日、年末年始を除く） ●電話：03-5803-4008

※基本的には、「予約制」としておりますので、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

★患者相談室（医療連携支援センター内 A棟1階 病院正面入口を左側）

「診療科がたくさんあるので、どの診療科にかかったらよいかわからない」、「紹介状がないとみてもらえないのかしら?」、「設備やシステムに関して意見を言いたいのですが・・・」等、相談員の事務職員、看護師が対応いたします。内容によっては、関連部署におつなぎいたします。また結果を掲示板にてご報告させていただくこともあります。

●受付時間：9：00～16：00（土日祝日、年末年始を除く） ●電話：03-5803-4570

※電話及び面談にて相談に応じますが、お待ちいただくことがありますので、ご了承ください。

18 諸施設

施設		営業時間・サービス内容
医療売店	A棟1階	平日 9：00～17：00 ※移動売店 月・水・金 12：00～15：30
院内サポートステーション	A棟地下2階	平日のみ 8：30～17：00 付き添い寝具、電報、入院セットレンタル、宅急便の扱い
公衆電話		外来診療フロア（地下1階、1階、2階、4階）
コンビニエンスストア （セブンイレブン）	M&Dタワー1階	24時間営業
銀行ATM A棟1階	三井住友銀行	平日 8：45～19：00 土曜・日曜・祝日 9：00～17：00
	セブン銀行	24時間
売店	D棟1階	平日 8：30～17：00
歯科・口腔ケア用品店	D棟2階	平日 8：30～17：00
理容室	D棟地下1階	平日 9：00～17：00（最終受付 16：00）
スターバックスコーヒー	C棟1階	平日 7：00～21：00 土曜・日曜・祝日 8：00～19：00

19 各フロア案内

- 各外来への連絡 ☎ 03-5803-xxxx
- 入院費等のお問合せ ☎ 03-5803-5128 (入院係)



	7F	自動販売機コーナー	
・輸血・細胞治療センター…5646	6F	・手術部	屋内渡
・病理部 ・検査部 (生理機能) 脳波、超音波、心臓工コー	5F	・血液浄化療法部 (透析)	屋内渡
・外来 整形外科 ……5678 ・リハビリテーション部 ……5648	4F	・外来 内科 (血液 / 糖尿病・内分泌・代謝 / 腎臓 / 総合診療 / 消化器 / 循環器 / 脳神経 / がんゲノム診療科 / 遺伝子診療科) ……5670 耳鼻咽喉科 / 頭頸部外科 ……5682 小児科 / 小児外科 ……5674 ・光学医療診療部 (内視鏡) ……5669 ・栄養相談室 ……5134	屋内渡
・検査部・中央採血室 (検体検査: 生化学、血液、細菌)	3F	・外来 内科 (膠原病リウマチ / 呼吸器) ……4587 周産・女性診療科 ……5684 泌尿器科 ……5680 皮膚科 ……5679 形成・美容外科 / 再建形成外科 / 乳腺外科 ……5924 がん相談支援センター ……4124 化学療法・注射センター ……4756 ・検査部 (生理機能) 心電図、ガス代謝、基礎代謝、筋電図	屋内渡
・外来 精神科 / 心身医療科 5689 ・精神科ディケア ・精神科病室	2F	・外来 麻酔・蘇生・ペインクリニック科 ……5685 心臓血管外科 / 呼吸器外科 ……5677 眼科 ……5681 外科 (食道 / 胃 / 大腸・肛門 / 肝胆脾 / 末梢血管 / 脳神経外科 / 血管内治療科) ……5675 臨床腫瘍科 / 感染症内科	
・放射線部 (レントゲン受付) ……5635 (X線撮影、MRI、CT、超音波、特殊撮影)	1F	・受付窓口 (初診、再診、入院) ・医療費支払窓口 ・医療連携支援センター ……4518 ・薬剤部 (お薬お渡し口、お薬相談室) ・医療売店 銀行 ATM	正面玄関
・放射線部 (特殊撮影)	B1F	・高気圧治療部 ……5341 ・防災センター 薬剤部 (時間外)	時間外出入口
・外来 放射線科 (放射線治療、シンチ) ……5683 ・PETセンター ……4750	B2F	・院内サポートステーション (付添寝具、電報・寝具、タオルレンタル等)	

D棟3Fへの連絡通路

C棟

り廊下	6F	手術部
り廊下	5F	ICU・HCU
	4F	
り廊下		
	3F	ER-ICU・ER-HCU
り廊下		
	2F	
	1F	スターボックス
	B1F	救命救急センター(初療) 救急事務室(時間外受付)……………5102
		総合案内

D棟

	8F	病室
	7F	歯科麻酔科 歯科手術室
	6F	口腔外科・顎義歯・言語治療外来 検査部(血液検査・心電図検査・呼吸機能検査) 顎口腔変形疾患外来
	5F	むし歯科 歯周病科 摂食嚥下リハビリテーション科
	4F	第1総合診療室 第2総合診療室 歯科心身医療科 快眠歯科(いびき無呼吸) 外来(初診受付)
	3F	義歯科 スポーツ歯科外来 口腔インプラント科 歯科アレルギー外来 先端歯科診療センター 顎関節治療部 クリーンルーム歯科外来 快眠歯科(いびき無呼吸) 外来 オンライン診療室 オーラルヘルスセンター
	2F	矯正歯科 小児歯科 ペインクリニック 口腔ケア外来 和同会歯科・口腔ケア用品店
	1F	歯科総合診療部 高齢者歯科外来(スペシャルケア外来1) 障害者歯科外来(スペシャルケア外来2) 息さわやか外来 薬剤部 和同会売店
	B1F	歯科放射線科 (レントゲン・CT・MRI) 休憩スペース 理容室

A棟2Fへの連絡通路

1. 安全対策に関するお願い

本院では職員一同、安全で良質な医療の提供に努めています。
また、患者さんやご家族にも職員が取組んでいる安全対策にご参加いただき、一緒に安全を守って
いきたいと考えています。
以下の確認および安全対策にご協力をお願い致します。

- ・入院中は常にネームバンドを装着していただきます。
ネームバンドは、装着前にお名前と生年月日に間違いのないことを確認してください。
 - ・ご本人確認のために診察・検査・治療のたびに「ネームバンド」での確認をします。またはお名前と生年月日をお聞きして確認をしますので「フルネームと生年月日」をおっしゃってください。
 - ・点滴や注射を実施する際には、点滴ボトルのお名前と生年月日を職員と一緒に確認してください。
 - ・採血を行う時には、職員が検体容器のお名前と生年月日を読み上げ
ネームバンドでの確認を行います。
フルネームと生年月日をおっしゃっていただき、検体容器の
お名前と生年月日と一緒に確認してください。
 - ・食事やお薬、書類などの受け渡しの際は、食札、薬袋、書類に
記載されたお名前と生年月日をご自分のものであるかを職員と
一緒に確認してください。
- ※お名前を確認することなく、診察や処置、検査・治療は行いません。
- ※食物やお薬でのアレルギーなど、重要な身体情報は必ずお知らせください。
また、困ったこと、わからないこと、気になることがありましたら遠慮なくお尋ねください。



お名前と生年月日
は間違いありませんか？



採血・静脈注射・点滴を受けられる患者さん・付添の方へ

「採血」は病気の診断、病状の把握を行うために、また「静脈注射」「点滴」は治療のために必要な医療行為です。「採血・静脈注射・点滴」は、まれに合併症が起こることがあります。「採血・静脈注射・点滴」の必要性・危険性をご了解の上、お受けいただきますようお願い申し上げます。

採血・注射・点滴の伴う合併症について

合併症の頻度は極めて少なく、また軽症なものが多いとされていますが、まれに次のようなことが起きる場合があります。

【止血困難・皮下血腫】

あざや内出血ができることがあります。穿刺後の不十分な止血などが主な原因です。

【アレルギー】

採血時の消毒薬やスタッフの手袋などで、痒み・発疹などのアレルギー症状が出現することがあります。

【神経損傷】

採血・静脈注射時や後に、腕や手に広がる痛み・しびれなどが生じ、一定時間が経過した後も持続します。約1万回～10万回の穿刺に1回の頻度で起こるとされています。

【血管迷走神経反応】

神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい、気分不快感、意識消失などの引き起こします。0.01%～1%の頻度で起こるとされています。心理的に緊張・不安が強いと起こりやすくとされ、採血前に起こることもあります。

【血管外漏出】

血管外に薬剤が漏れてしまうことによって、針を刺した部位のまわりの皮膚が腫れたり、痛んだり赤くなる場合があります。

※これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。なおその際の治療は、通常の保険診療となります。気になる症状がありましたら、すぐにスタッフへお知らせください。

採血・静脈注射・点滴を受けられる患者さんへのお願い

- 当院では採血・静脈注射・点滴を「安全に」「間違いなく」行うために次のことを確認させていただきます。ご本人確認・患者間違い防止のため、ご自身の姓名を名乗っていただいております。下記に該当する患者さんは、スタッフに申し出ください。
 - ・採血や注射時に気分が悪くなる方
 - ・消毒薬（アルコールなど）や手袋にアレルギーのある方
 - ・血液透析中でシャントのある方
 - ・乳房切除術を受けられた方
 - ・血液を固まりにくくする薬（ワーファリン・バイアスピリン等）を服用されている方
 - ・血小板の減少等により、血液が止まりにくい方
 - ・以前の採血・注射で痛みやしびれを感じた方
- 採血・静脈注射・点滴後は揉まずに血液が止まるまで5分程度穿刺部を圧迫してください。血液が止まりにくい方は長めの圧迫をお願いいたします。
- 結果・検査項目についてご不明な点は担当医にご相談ください。

ご不明な点・ご不安な点がございましたら遠慮なくスタッフにお訊ね下さい。安全で円滑な採血・静脈注射・点滴には患者さんのご協力が必要となります。なにとぞ、ご理解・ご協力をお願いいたします。

入院患者さん・ご家族の皆様へ

病院は、住み慣れた自宅と環境が変わり、今までできていたことが同じようにできないことがあります。また、治療や検査などで体力が消耗するなど、体にも変化が起こり転倒の危険があります。

入院中の転倒予防のために

1. 病院内では靴をはきましょう。



ご自分のサイズに合った滑りにくい靴を履きましょう。



スリッパやサンダルは脱げやすく、思わぬところで脱げたりつまずいたりします。



2. 足元がふらつくお薬・血圧に変化の起こるお薬は飲んでませんか？

お薬の種類によっては、足元に力が入らなかったり、血圧が下がってふらつく場合があります。お薬については薬剤師・医師や看護師の説明をよくお聞きください。

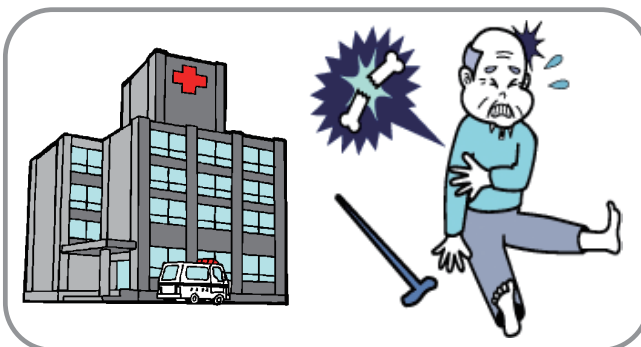
3. 治療や検査の後は体力が予想以上に低下しています。

いつも一人で歩ける人でも入院中は検査・治療で安静にすることも多く、体力や筋力が低下しています。過信せず看護師を呼びましょう。



4. 転倒時に思わぬけがをすることがあります。

転倒することで骨折などのけがをすると、入院が延びてしまうことがあります。



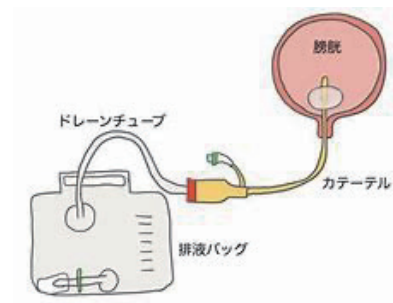
不安な時、不明なことがある時は医師・看護師に声をかけてください。

膀胱留置カテーテルについて

膀胱留置カテーテルとは、尿道から膀胱内へカテーテルを挿入し、持続的に尿を排出します。チューブの先端にバルーンという小さな風船を膀胱内で膨らませ、チューブが自然に抜けないように固定し、挿入したままの状態にします。

目的

1. 自力で排尿することができないとき
2. 尿量を正確に測定する必要があるとき



方法

尿道口からチューブを挿入し、チューブの先端を膀胱まで進めます。チューブの先端が膀胱内に到達したら、バルーンを膨らませ、チューブを固定します。

合併症

膀胱留置カテーテルは以下のような合併症が起きる可能性があります。まれに合併症に対する治療が必要になることもあります。これらのことが起きた場合は、最善の処置を行います。その際の医療行為は通常の保険診療となり、費用のご負担が生じます。

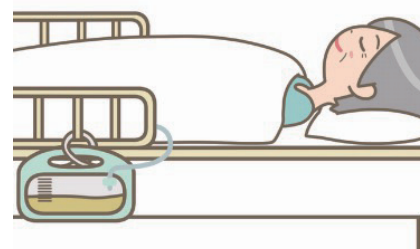
1. 尿路感染症：チューブを挿入した部位から細菌が入り、感染症を起こすことがあります。
2. 尿道損傷：チューブの挿入が難しい場合や、チューブが無理に引っ張られるなどした場合、尿道を損傷して、出血や炎症が起こることがあります。
3. 膀胱刺激症状：チューブの刺激によって、下腹部の張りや痛み、排尿したい感覚が続いてしまうなどの症状が出る場合があります。
4. その他、尿漏れ、膀胱結石、チューブが当たっている部位やテープ固定部に皮膚障害等が発生することがあります。

特別に注意が必要な場合

下記に該当する患者さんは、スタッフに申し出てください。

- 過去に膀胱留置カテーテル挿入時に挿入困難と言われたことのある方
- 泌尿器科のご病気を指摘されている方
- 消毒薬や手袋などにアレルギーをお持ちの方

ご不明な点、ご不安な点がございましたら、遠慮なくスタッフにお訊ねください。



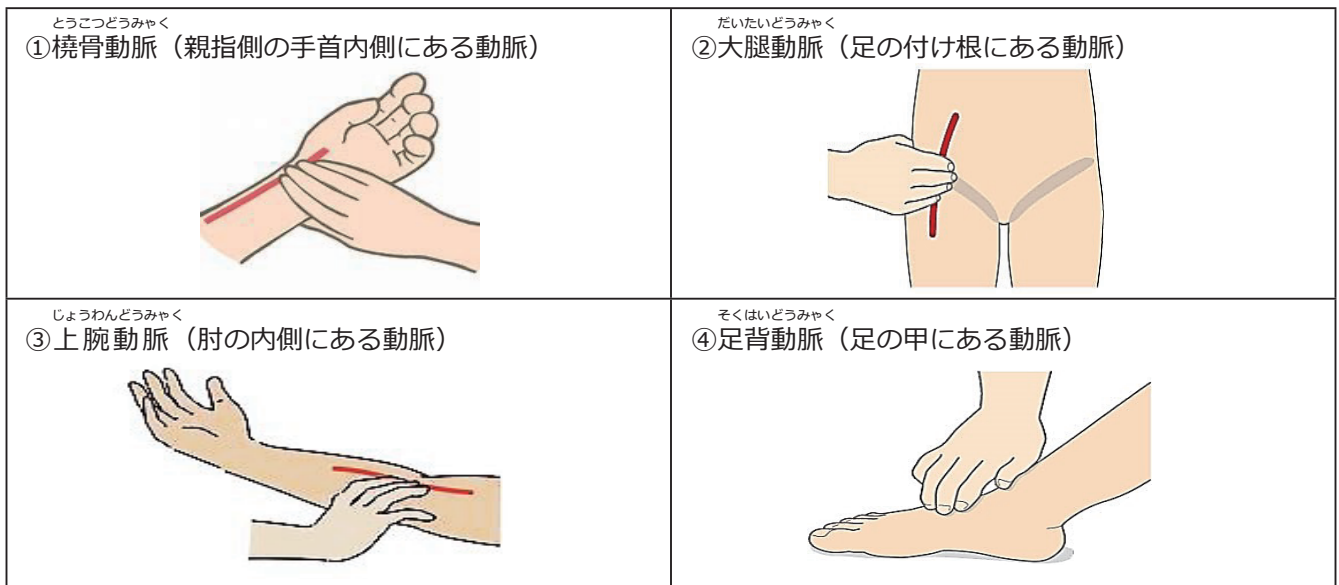
動脈ラインについて

動脈ラインは、動脈に細い針を挿入し、カテーテルを留置して血圧測定や動脈血の採取を行います。

目的

持続的な血圧や脈拍等の変化を観察することができます。それにより、急な変化に対する素早い対応や細やかな薬剤調整などができます。また動脈血の採取が迅速に行えます。

挿入部位の例



合併症

動脈ラインは以下のような合併症が起きる可能性があり、まれに合併症に対する治療が必要になることもあります。これらのことが起きた場合は、最善の処置を行います。その際の医療行為は通常の保険診療となり、費用のご負担が生じます。

1. 末梢循環不全（血の巡りが悪くなる）
2. 血腫（血液が一か所に溜まってコブのように腫れる）または出血
3. 感染
4. 仮性動脈瘤（動脈の壁が傷ついてコブのように膨らむ）
5. その他、カテーテルによる違和感、神経の損傷、皮膚の潰瘍、血栓症など

特別に注意が必要な場合

下記に該当する患者さんは、スタッフに申し出てください。

- 手足にしびれ、痛みがある方
- 消毒薬や手袋などにアレルギーをお持ちの方

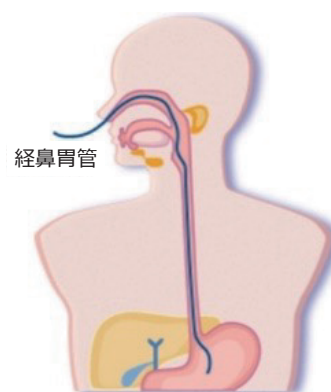
ご不明な点、ご不安な点がございましたら、遠慮なくスタッフにお訊ねください。

経鼻胃管挿入について

経鼻胃管挿入とは、鼻からプラスチック製のチューブを胃まで挿入することです。

目的

1. 胃の内容物を出すため（例：腸閉塞）
2. 胃の内容物の状態を確認するため（例：吐血したが判断がつかない時）
3. チューブから薬剤や栄養を直接入れるため



適応

1. 食事・薬が口からとれない
2. 経口摂取だけでは十分な栄養を充足できない
3. 嚥下障害があって、誤嚥の可能性が高い
4. 胃や腸に問題を抱えている

方法

鼻からチューブを挿入し、胃まで通します。チューブを挿入後、レントゲン撮影でチューブが正しい位置に挿入されているか確認します。

合併症

以下のような合併症が起きる可能性があり、まれに合併症が起きた場合には、最善の処置を行います。その際の医療行為は通常の保険診療となり、費用のご負担が生じます。

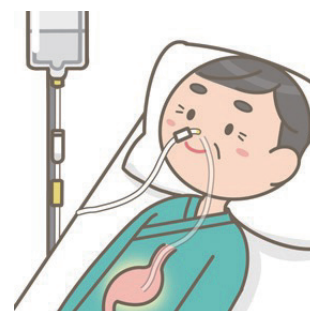
1. 胃ではない部位へチューブが逸れる、迷い込んでしまう。（気管の中、頭蓋内など）
2. 消化管を傷つけることによる出血や消化管に穴が開く
3. 鼻の粘膜を傷つけることによる出血
4. チューブ固定による鼻翼の圧迫によって組織の一部が死滅する
5. 薬剤や栄養剤の逆流やチューブの内転等による誤嚥

特別に注意が必要な場合

下記に該当する患者さんは、スタッフに申し出てください。

- 耳鼻咽喉科、下垂体等のご病気を指摘されている方
- 飲み込みが難しい方
- 過去に胃管挿入時に挿入が困難と言われたことがある方
- 消毒薬、手袋などにアレルギーをお持ちの方

ご不明な点、ご不安な点がございましたら、遠慮なくスタッフにお訊ねください。



2. 感染防止に対するご協力とお願い

すべての人の皮膚や喉、消化管の中には、常在菌といわれる細菌が存在します。常在菌は健康な人には無害ですが、点滴など体に管がはいつている場合や抵抗力が弱っている場合には、病気の原因となることがあります。院内感染を予防するために、患者さん、ご面会の皆様には、以下の点について、ご理解とご協力をお願いいたします。

<感染対策の表示について>

当院では、すべての病院職員が適切な感染対策を確実に実施するために、病室の前に感染対策に関する表示をしております。

<手指衛生>

病院内や病室に出入りする時、食事の前、トイレの後等は、手洗いや手指消毒をお願いいたします。

<マスクの着用>

病院内では、できる限りマスクの着用をお願いいたします。特に、病室内では病院職員が訪問室した時、リハビリや検査時、売店等に行く際には、必ずマスクを着用してください。

マスク未着用で咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口や鼻を覆ってください。



マスクは病院1階、地下1階の自動販売機やコンビニで販売しております。

<感染を拡げないために>

院内感染が疑われる場合や感染対策の強化が必要な場合は、鼻腔や咽頭、便等の検査をさせていただくことがあります。状況によっては、感染拡大防止のため、病室を移動していただくことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、病院職員が患者さんに使用した針等の器材で受傷した場合、患者さんに採血をお願いしたり、検査室に保管されている患者さんの採血検体を使用し、検査を行わせていただくことがあります。

ご質問等がある場合には感染制御部までお問い合わせください。

【MEMO】

A series of horizontal dotted lines for writing.

